車いす仕様車の操作手順

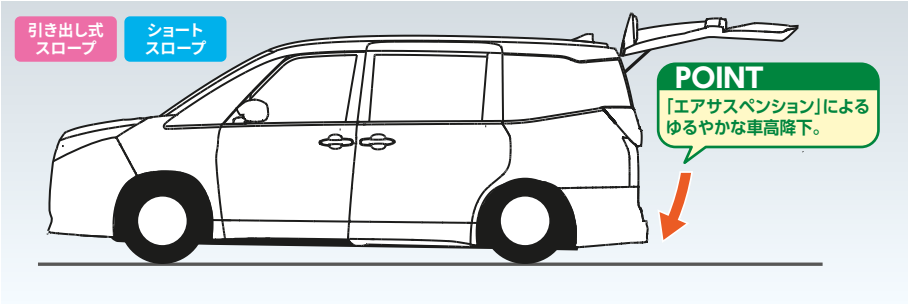
●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。　※写真はノアX（ガソリン・2WD・7人乗り）車いす仕様車“タイプⅠ（車いす2名仕様）”。

操作手順の動画はこちら →

タイプⅠ　タイプⅡ　引き出し式スロープ

※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。［参考］写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

全車共通操作



1 後部の車高を下げる

①バックドアを開けると自動的に車高が下がり、セーフティベルトがフリーモードになります（連動モード時）。（車高は下がりきると自動停止します）

※車高切替スイッチを使って車高を下げることもできます。

POINT
バックドアの開閉と車高の昇降をリンクさせた簡単操作。

◆車高降下を行う場合は、必ず下記の状態にしてください。
●エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉で車両を停止させる。
●パーキングブレーキをかける。
●シフトレバーを「P」位置にする。

車高切替スイッチ

各スイッチの取付け位置

※写真は“タイプⅠ（車いす2名仕様）”。

①固定・解除スイッチ（セカンド席用）
②前席・後席切替スイッチ
③固定・解除スイッチ（サード席用）
④車高切替スイッチ

※写真は“タイプⅡ”。

①固定・解除スイッチ（サード席用）
②車高切替スイッチ

■電動ウインチ装着車の場合（メーカーオプション）

※写真はノアS-G（ハイブリッド・2WD・7人乗り）車いす仕様車“タイプⅠ（車いす1名仕様）・ショートスロープ”。

電動ウインチ

ワイヤレスリモコンスイッチの操作により、電動で車内に引き上げます。
リモコンスイッチを車いすのハンドルなどに固定できるリモコンホルダーを設定。

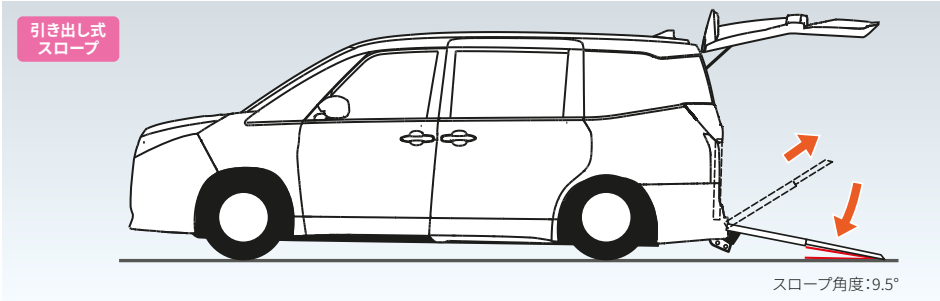
POINT
電動で引き上げるので、乗降がさらにラクになり、介助者の負担を軽減します。

POINT
リモコンホルダーを使用すれば、両手で車いすを支えやすくなります。

ワイヤレスリモコン

リモコンホルダー

引き出し式スロープ乗り込み手順



2 乗り込みの準備をする

ショートスロープ の場合はショートスロープ乗り込み手順へ

②スロープが前倒れ状態になっている場合は垂直に起こします。スロープを支えながら、ロック解除レバーを引き上げてロックを解除し、スロープの取っ手を持って車外へ最後まで引き出します。

※スロープは二重になって格納されています。

ロック解除レバー

③フリー状態になっているセーフティベルトを引き出し、フックを車いすのキャスター上部（左右2か所）に掛けます。

※セーフティベルトは、乗車の際に車いすの後退を防ぎます。（電動で車いすを引き上げることはできません）

フック仕置きバンド

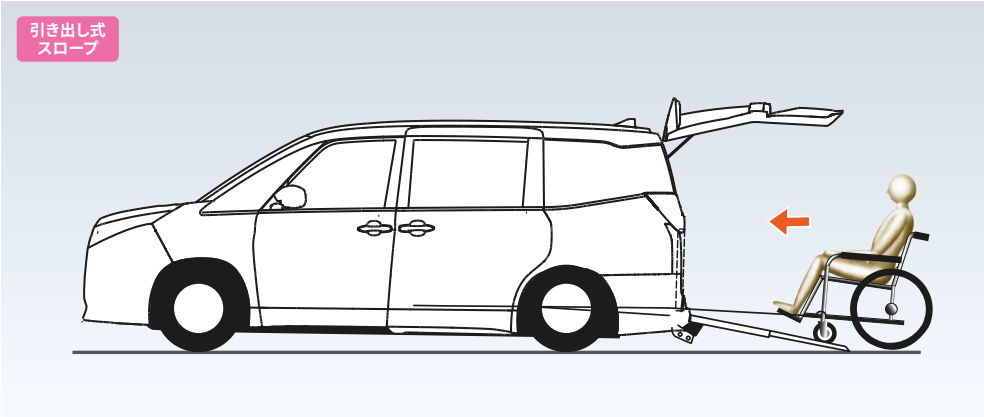
車両左側

車両右側

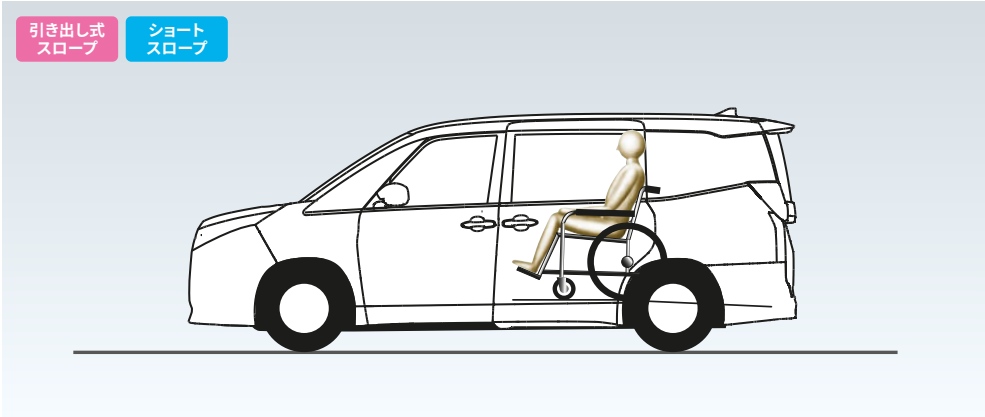
POINT
「フック仕置きバンド」をバックドア近くの左右に設置。車内に入ることなくベルトを素早く取り出せます。

※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。［参考］写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

引き出し式スロープでセカンド席にご乗車の場合



全車共通操作



3 車いすをセカンド席に乗り入れる

ショートスロープ の場合はショートスロープ乗り込み手順へ

④ゆっくりと車内に乗り入れます。

POINT
セーフティベルトに巻き取り機能を装備。ベルトのたるみを防ぎます。

POINT
セーフティベルトは自動的に後退防止モードになります。

⑤フロアのガイドラインを目安にセカンド席まで進み、車いすの後輪中央を床面の停止線に合わせ停止します。セーフティベルトにより、車いすの前側が固定されます。

車いすの固定位置目安です。
ⓐ車いす2名乗車時
ⓑ車いす1名乗車時

車いす停止線（セカンド席用）

4 車いすをセカンド席に固定する

⑥車いすのブレーキをかけます。その後、後側の車いす固定装置（電動）のフックを取り出し、車いすの後部フレーム（左右2か所）に掛け、車いす固定スイッチを押して車いすを固定します。

⑦車いす用シートベルトを着用します。
スロープを格納し、バックドアを閉めると自動的に車高復帰します（連動モード時）。
（車高は上がりきると自動停止します）
※車高切替スイッチを使って車高を復帰することもできます。

セカンド席用固定・解除スイッチ

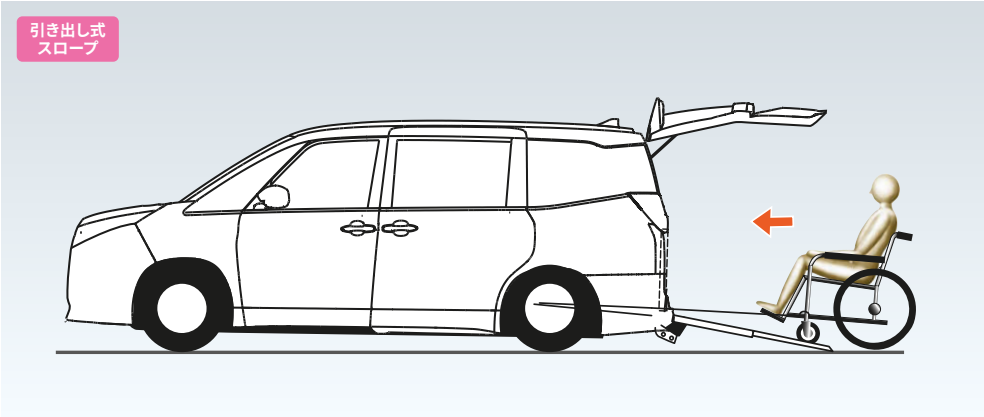
POINT
スイッチひとつで車いすを電動でしっかり固定。

POINT
車いす用シートベルトバックルが自立するので、片手で脱着が可能です。

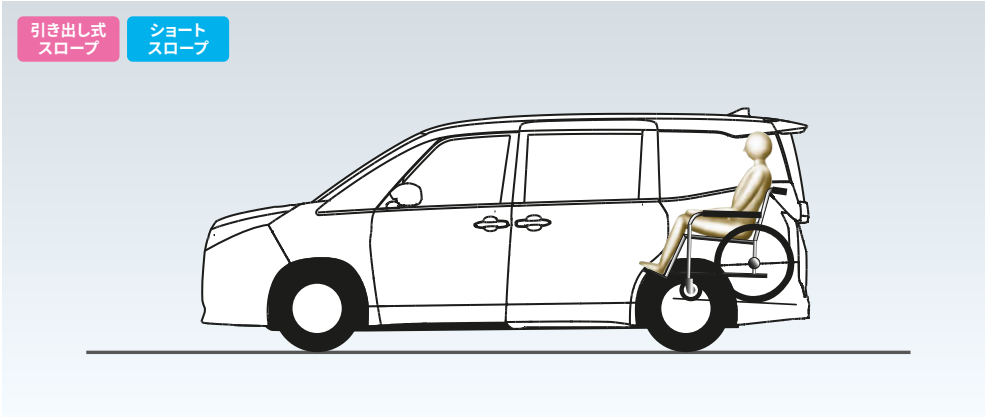
車高復帰
乗降が終わり、再び車両を動かす前に、必ず車高を復帰させてください。
万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーを「P」レンジ以外へ操作した時点で「車高復帰忘れ防止機能」が働き、車高を自動復帰させます。

※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。［参考］写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

引き出し式スロープでサード席にご乗車の場合



全車共通操作



3 車いすをサード席に乗り入れる

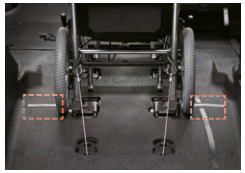
ショートスロープ の場合はショートスロープ乗り込み手順へ

④ゆっくりと車内に乗り入れます。

POINT
セーフティベルトに巻き取り機能を装備。ベルトのたるみを防ぎます。

POINT
セーフティベルトは自動的に後退防止モードになります。

⑤車いすの後輪中央を床面の停止線に合わせ停止します。セーフティベルトにより、車いすの前側が固定されます。



車いす停止線（サード席用）

4 車いすをサード席に固定する

⑥車いすのブレーキをかけます。その後、後側の車いす固定装置（電動）のフックを取り出し、車いすの後部フレーム（左右2か所）に掛け、車いす固定スイッチを押して車いすを固定します。

サード席用固定・解除スイッチ

POINT
スイッチひとつで車いすを電動でしっかり固定。

⑦車いす用シートベルトを着用します。
スロープを格納し、バックドアを閉めると自動的に車高復帰します（連動モード時）。
（車高は上がりきると自動停止します）
※車高切替スイッチを使って車高を復帰することもできます。

POINT
車いす用シートベルトバックルが自立しているので、片手で脱着が可能です。

車高復帰
乗降が終わり、再び車両を動かす前に、必ず車高を復帰させてください。
万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーを「P」レンジ以外へ操作した時点で「車高復帰忘れ防止機能」が働き、車高を自動復帰させます。

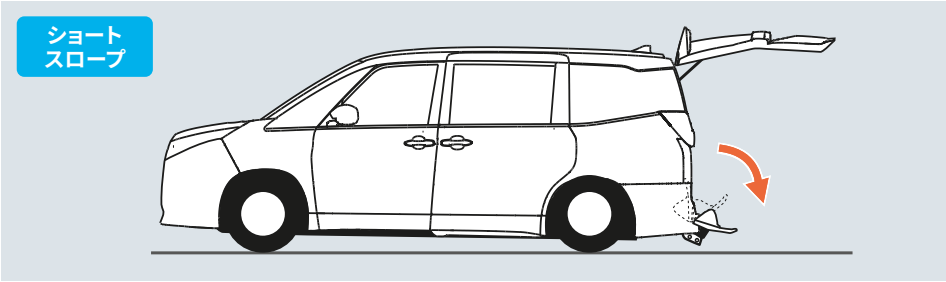
車いす仕様車の操作手順

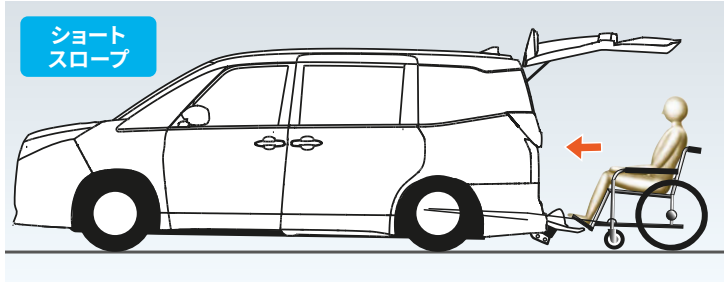
●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。　※写真はノアS-G（ガソリン・2WD・7人乗り）車いす仕様車“タイプⅠ（車いす2名仕様）・ショートスロープ”。

操作手順の動画はこちら →　タイプⅠ　タイプⅡ　ショートスロープ

※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。［参考］写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

ショートスロープ乗り込み手順





車高復帰

乗降が終わり、再び車両を動かす前に、必ず車高を復帰させてください。

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーを「P」レンジ以外へ操作した時点で「車高復帰忘れ防止機能」が働き、車高を自動復帰させます。

1 後部の車高を下げる手順は引き出し式スロープ同様です。

2 乗り込みの準備をする

②ロック解除レバーを引き上げてテールゲートを開き、展開ベルトを引いて2段折れになっているパネルを展開します

ロック解除レバー

③フリー状態になっているベルトを引き出し、フックを車いすのキャスター上部（左右2か所）に掛けます。

フック仮置きバンド

車両左側

車両右側

POINT
「フック仮置きバンド」をバックドア近くの左右に設置。車内に入ることなくベルトを素早く取り出せます。

テールゲート展開時

展開ベルト

2段折れパネル展開時

格納ベルト

3 車いすを乗り入れる

標準装備・セーフティベルトの場合

④車いすの前輪をショートスロープの上段に乗せ、車いすの後輪をスロープ下段に押し当てながら持ち上げ、車内に乗り入れます。

POINT
セーフティベルトに巻き取り機能を装備。ベルトのたるみを防ぎます。

POINT
セーフティベルトは自動的に後退防止モードになります。

※セーフティベルトは、乗車の際に車いすの後退を防ぎます。
（電動で車いすを引き上げることはできません）

メーカーオプション・電動ウインチの場合

POINT
自動で引き込みが開始され、一定距離をアシストする「自動モード」の機能を追加。

POINT
リモコンホルダーを使用すれば、両手で車いすを支えやすくなります。

ワイヤレスリモコン

リモコンホルダー
（車いすのハンドルへの装着例）

④車いすの前輪をショートスロープの上段に乗せ、車いすの後輪をスロープ下段に押し当てます。電動ウインチの「上」を押し続けると、車内に引き上げられます。また、「上」を2回連続で押すと自動モードが開始され、リモコンから手を離した状態で、車いすの乗り入れをアシストすることができます。リモコンはホルダーで車いすのハンドルなどに装着可能です。

4 2列目、3列目での固定方法は引き出し式スロープ同様です。

5 ショートスロープを格納する

⑤車いすを固定し車いす用シートベルトを装着後、テールゲート格納ベルトを車内側に引き上げてショートスロープを格納します。
バックドアを閉めると自動的に車高復帰します（連動モード時）。